

## 小平市第三次長期総合計画の実施状況

### 1 実施状況取りまとめの趣旨

平成 18 (2006) 年度から「こだいら 21 世紀構想—小平市第三次長期総合計画基本構想—」に基づいた新たな 15 年間のまちづくりが始まりました。

この基本構想では、将来都市像を「躍動をかたちに 進化するまち こだいら」と定め、5つの分野において各施策を計画的に実施しています。

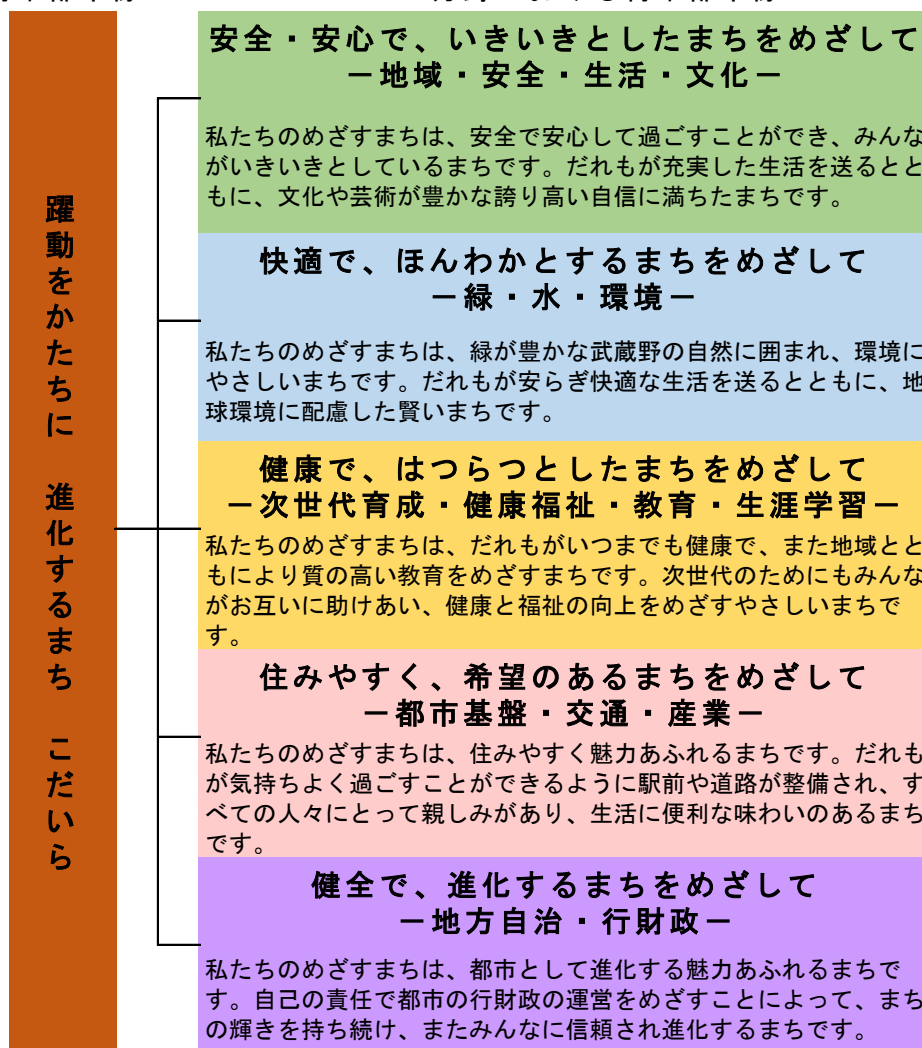
この度、小平市第三次長期総合計画の計画期間が令和 2 (2020) 年度までとなっていることから、次期長期総合計画の策定に活かすことを目的に、現行計画の実施状況について、5つの分野ごとの各施策の主な実績と成果、人口推移及び市民意識の視点から取りまとめます。

#### 基本的な理念

みんなが「いい表情（かお）を持つ」こと  
この地が「いい郷（さと）であり続ける」こと  
そして「いい明日（あした）を予感させる」こと

将来都市像

5つの分野における将来都市像



## 2 基本構想推進のしくみと市政を取り巻く主な出来事

第三次長期総合計画基本構想の期間において、平成 18（2006）年度から 10 年間の前期基本計画と毎年度ローリング方式で見直していく 3 年間の実施計画を策定し、計画的な行政運営を進めてきました。

この間、リーマンショック（平成 20（2008）年度）や東日本大震災（平成 22（2010）年度）、国の政権交代（平成 21（2009）年度、平成 24（2012）年度）など、社会経済に大きなインパクトを与える出来事が続発し、計画の前提となる条件が短期間で変化する傾向が見られるようになってきました。

また、法令等の要請や行政課題への対応等によって策定される個別計画等は、その特定分野において基本計画以上の実効性が見られるようになってきました。

こうしたことから、前期基本計画の計画期間終了（平成 27（2015）年度）を待たず、平成 25（2013）年度以降は、平成 25（2013）年度から平成 28（2016）年度の 4 年間の「中期的な施策の取組方針・実行プログラム」を、平成 29（2017）年度から平成 32（2020）年度の 4 年間の「新 中期的な施策の取組方針・実行プログラム」を策定し、4 年間の施策の取組方針を示すとともに、各分野で重点的に推進するテーマを掲げ、取り組んできました。

H18 2006	H19 2007	H20 2008	H21 2009	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020			
<b>基本構想 15 年間</b>																	
前期基本計画						中期的な施策の取組 方針・実行プログラム				新 中期的な施策の取組 方針・実行プログラム							
実施計画 3 年間									3 年間						3 年間		
実施計画 3 年間										2 年間						2 年間	
		実施計画 3 年間								1 年間					1 年間		
				実施計画 3 年間													
						実施計画 3 年間											
								実施計画 3 年間									
										実施計画 3 年間							
		リーマンショック	政権交代 自治基本条例施行	東日本大震災 市民活動支援センター開設	地方自治法改正（基本構想の策定義務廃止）	市政権交代 市制施行 50 周年	議会基本条例施行	消費税 8% への移行 まち・ひと・しごと創生法成立		熊本地震 こだいら観光まちづくり協会設立		西日本豪雨 北海道胆振東部地震	新元号への移行 消費税 10% への移行	東京オリンピック・パラリンピック開催			

3 5つの分野ごとの各施策の主な実績と成果

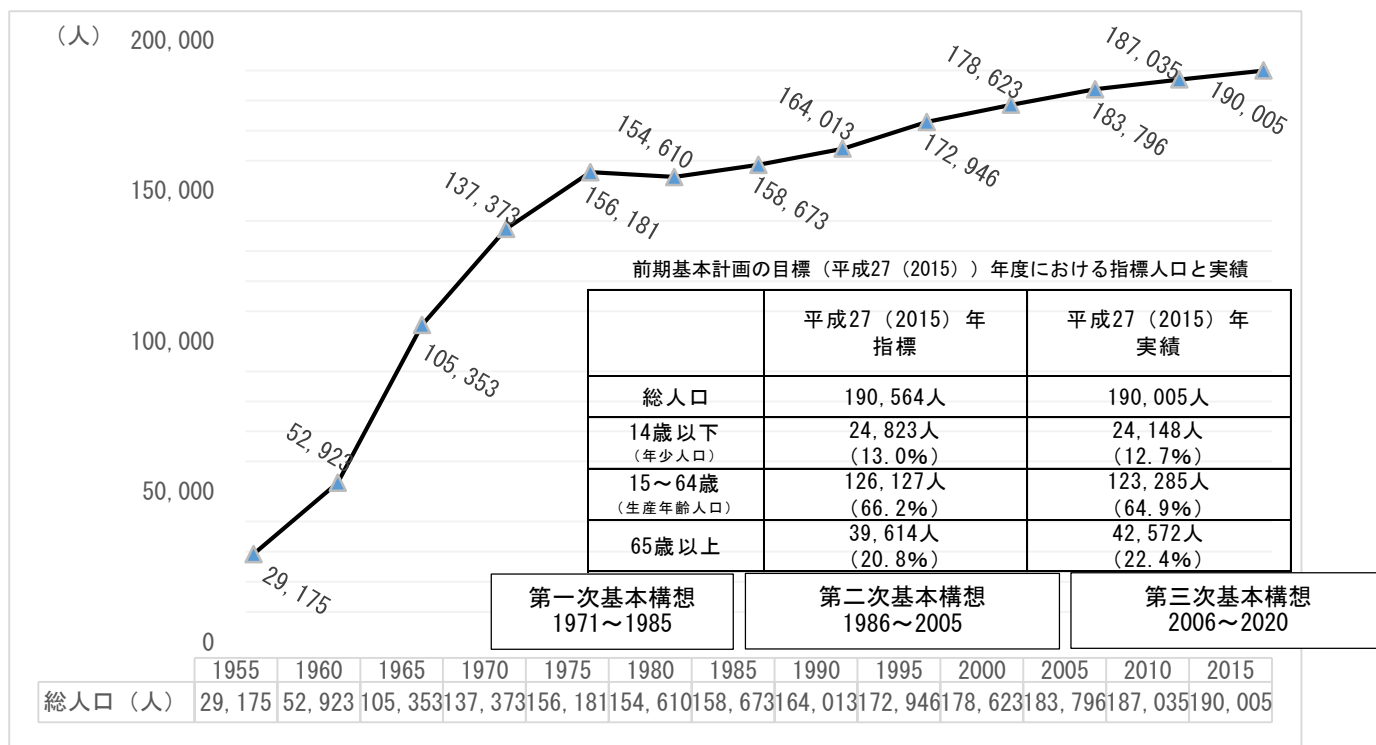
大項目	前期基本計画 【H18 (2006) 年度～H24 (2012) 年度】			中期的な施策の取組方針・実行プログラム 【H25 (2013) 年度～H28 (2016) 年度】		新中期的な施策の取組方針・実行プログラム 【H29 (2017) 年度～R2 (2020) 年度】	
	計画事業数 52	実施事業数 48	実施率 92%	テーマ	トピックス	テーマ	トピックス
安全・安心で、いきいきとした まちを築いていく	計画事業数 52   実施事業数 48   実施率 92%			<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>協働のさらなる推進</li> <li>地域自治の推進</li> <li>災害に強い市民の育成</li> <li>災害に強いまちづくりの推進</li> <li>相談機能の充実</li> <li>市の文化資源・歴史的遺産の活用の推進</li> <li>地域資料等のさらなる活用</li> </ul>	<p>トピックス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動支援センターあすびあやや社会福祉協議会との連携、学園西町地区地域連絡会における「居場所」づくりの実現、小川西町地区での地域防災の連携、子育てサロンの開設等着実な成果があった。</li> <li>防災行政無線の子局整備や備蓄品の充足などを推進した。</li> <li>市の組織体制を見直し、相談窓口の認知度向上等を図った。</li> <li>地域資料等の総合的な管理提供体制の整備をはじめ、幅広い市民が文化や歴史に親しむ機会を提供した。</li> </ul>	<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>協働のさらなる充実</li> <li>地域自治の推進</li> <li>災害に強い市民の育成</li> <li>災害に強いまちづくりの推進</li> <li>相談機能の充実</li> <li>市の文化資源・歴史的遺産の活用の推進</li> <li>地域資料等のさらなる活用</li> </ul>	<p>トピックス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大学連携協議会（こだいらブルーベリーリーグ）やこだいら人財の森事業の実施により、地域の課題に取り組む仕組みづくりを推進している。</li> <li>空き家等対策計画を策定した。</li> <li>市、防災関係機関及び市民が連携して取り組む体制づくりの充実を図り、自主防災組織の数や災害協定の締結数は増加している。</li> <li>消費者生活相談の時間や日数を増やしてきた。</li> <li>鈴木遺跡の国指定史跡化をめざし、取組を進めている。</li> </ul>
	<p>主な実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動支援センター開館</li> <li>小川町二丁目地域センター開館</li> <li>小川町一丁目地域センター開館</li> <li>防犯情報システム整備</li> <li>国民保護計画策定</li> <li>文化振興の基本方針策定</li> <li>鈴木遺跡の東京都指定史跡化</li> <li>市史編さん事業の実施</li> </ul>						
快適で、ほんわかとする まちを築いていく	計画事業数 42   実施事業数 39   実施率 93%			<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民参加・協働による緑の保全・創出</li> <li>新みどりの骨格づくり</li> <li>春の小川の創生</li> <li>循環型・予防保全型の下水道の整備</li> <li>新エネルギー・省エネルギーの推進</li> <li>3Rの推進</li> </ul>	<p>トピックス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>花いっぱいプロジェクトの活動等を着実に実施し、緑の豊かさに満足している市民の割合もさらに上昇した。</li> <li>市民参加による清掃等により、用水路の保全に努めた。</li> <li>下水道プランに基づき、浸水対策等を計画的に実施した。</li> <li>市民への設置費用の助成や公共施設への設置、市民共同発電所との連携等、太陽光発電の導入拡大に取り組んだ。</li> <li>食物資源循環モデル事業の推進等により、生ごみの減量及び食物資源としての有効活用を図った。</li> </ul>	<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民参加・協働による緑の保全・創出</li> <li>みどりのネットワークの形成</li> <li>春の小川の創生</li> <li>循環型・予防保全型の下水道の整備</li> <li>省エネルギー・創エネルギーの推進</li> <li>ごみ減量のさらなる推進</li> <li>資源循環のさらなる推進</li> </ul>	<p>トピックス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画公園の整備の検討を進めている。</li> <li>新堀用水のり面・胎内堀保全改修を行っている。</li> <li>下水道プランに基づき、浸水被害歴のある地区を優先して雨水管きよの整備を進めている。</li> <li>市民版環境配慮指針に基づき、環境家計簿の普及啓発など環境負荷の低減に、市民協働で取り組んでいる。</li> <li>家庭ごみ有料化・戸別収集の実施及びリサイクルセンターの更新など、循環型社会に向け取組を強化している。</li> </ul>
	<p>主な実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小川緑地の用地取得・整備</li> <li>用水路親水整備事業の実施</li> <li>公共下水道合流式・分流式汚水事業の実施</li> <li>地域エネルギービジョンの策定</li> <li>エコセメント事業の安定的運営への支援</li> </ul>						
健康で、はつらつとした まちを築いていく	計画事業数 92   実施事業数 91   実施率 99%			<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域における子育て支援サービスの充実</li> <li>保育環境・サービスの充実、向上</li> <li>多様な保育サービスの充実</li> <li>保健・予防対策の推進</li> <li>高齢者を地域で支えあう仕組みづくりの構築</li> <li>障がい者の自立にむけた支援の充実</li> <li>教育環境の整備の推進</li> <li>児童・生徒の学力の向上、健全育成の推進</li> <li>特別支援教育の推進</li> <li>地域と学校の連携の強化による地域の教育力の向上</li> <li>図書館サービスの充実</li> <li>地域に根ざしたスポーツ振興の推進</li> </ul>	<p>トピックス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子育てふれあい広場、児童館、子ども広場等の利用者数が着実に増加した。</li> <li>待機児童対策として保育園等を整備するとともに、一時預かり事業や病児・病後時保育事業など多様な保育サービスを展開した。</li> <li>関係機関と連携し、女性相談事業の周知に努めた。</li> <li>検診の受診勧奨や同時実施など、受診率向上に努めた。</li> <li>介護予防・日常生活支援総合事業を開始し、介護予防や地域を支える人材の育成に取り組んだ。</li> <li>障がい者の相談・就労支援等、自立と社会参加を支援した。</li> <li>生活困窮者の自立を支援した。</li> <li>学校等の大規模改造工事の実施により、教育環境の整備を図った。</li> <li>学校支援ボランティア、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等多様な主体との連携により、児童・生徒の学力向上及び健全育成を推進した。</li> <li>地域教育サポート・ネット事業や放課後子ども教室推進事業などにより、地域の教育力の向上が図られた。</li> <li>図書館と公民館が連携する生涯学習の拠点として、なかまちテラスを開館した。</li> <li>図書館レファレンス件数が大幅に増加し、情報拠点としての役割を担った。</li> <li>スポーツボランティアの参加人数が増加するとともに、体育施設の利用人数も増加した。</li> </ul>	<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域における子育て支援サービスの充実</li> <li>保育環境・サービスの充実、向上</li> <li>若者やひとり親家庭の自立支援</li> <li>健康づくりの推進</li> <li>妊娠・出産期からの支援体制の充実</li> <li>高齢者を地域で支えあう仕組みづくりの構築</li> <li>障がい者の自立にむけた支援の充実</li> <li>教育環境の整備の推進</li> <li>児童・生徒の学力と体力の向上、健全育成の推進</li> <li>地域と学校の連携・協働による地域の教育力の充実</li> <li>生涯学習の新たな展開</li> <li>東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機としたさらなるスポーツ振興</li> </ul>	<p>トピックス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども・子育て支援事業計画に基づき、認可保育園、学童クラブの増設とともに、子ども家庭支援センター、児童館、子ども広場、子育てふれあい広場等の事業を推進している。</li> <li>女性相談機能の充実を図っている。</li> <li>子ども・若者計画を策定し、子ども・若者育成支援施策を総合的・体系的に推進している。</li> <li>こだいら健康増進プランの中で健康都市宣言をし、健康増進を推進している。</li> <li>地域包括ケア推進計画に基づき、「医療・介護・介護予防・住まい・生活支援」が身近な地域で一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取組を推進している。</li> <li>障がい者福祉計画に基づき、相談支援事業所を設置し、情報提供、助言、サービス利用支援を行っている。</li> <li>児童・生徒一人ひとりの成長を支援するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携、特別支援教育の充実を図っている。</li> <li>公民館事業企画委員会を設置し、地域のネットワークづくりやコミュニティづくりを支援している。</li> <li>子どもから高齢者までのライフステージに応じたスポーツに親しめる機会の充実を図っている。</li> </ul>
	<p>主な実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児医療費助成制度の拡大</li> <li>小川町二丁目児童館開館</li> <li>小川町一丁目児童館開館</li> <li>小川西保育園の建替え</li> <li>多様な保育サービス（延長・一時・病後児等）の推進</li> <li>アクティブプラン 21（第三次小平市男女共同参画推進計画）改定</li> <li>青少年育成プラン改定</li> <li>母子保健ネットワーク事業の充実</li> <li>基幹型地域包括支援センター開設</li> <li>福祉サービス総合支援事業の推進</li> <li>障がい者地域自立生活支援センター開設</li> <li>教育振興基本計画の策定</li> <li>地域教育サポート・ネットの充実</li> <li>公共施設予約システムの導入</li> <li>スポーツ振興の基本方針策定</li> </ul>						
住みやすく、希望のある まちを築いていく	計画事業数 51   実施事業数 50   実施率 98%			<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市街地整備の促進</li> <li>都市計画道路の整備推進</li> <li>公共交通の充実</li> <li>地域に根ざした商業の推進</li> <li>身近で質の高い農業の推進</li> </ul>	<p>トピックス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりの基本的な方針である都市計画マスタープランを改定するとともに、小川駅前周辺地区まちづくりビジョンに基づき、小川駅西口再開発事業等に取り組んだ。</li> <li>都市計画道路 3・4・23 号線などの整備が完了した。</li> <li>コミュニティバスやコミュニティタクシーの運行に地域協働で取り組み、乗車人数も増加した。</li> <li>観光まちづくり振興プランに沿って「こだいら観光まちづくり協会」が設立され、特徴的なイベントの実施等により地域のにぎわいを創出した。</li> <li>小学校給食における地場農産物使用率の向上を図った。</li> </ul>	<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市街地整備の促進</li> <li>都市計画道路の整備推進</li> <li>公共交通の充実</li> <li>自転車の安全利用の推進</li> <li>地域に根ざした商業の推進</li> <li>身近で質の高い農業の推進</li> <li>地域が主体となる観光まちづくりの推進</li> </ul>	<p>トピックス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>組合施行による小川駅西口地区、小平駅北口地区の市街地再開発事業に対し財政的、技術的支援等を行いながら事業を推進している。</li> <li>市施行の都市計画道路 3・4・19 号線の事業認可を取得するなど、都市計画道路の整備を進めている。</li> <li>緊急性の高い路線から計画的に補修を行い、適切な市道の維持管理に努めている。</li> <li>産業振興基本計画・農業振興計画を策定した。両計画や、観光まちづくり振興プランに基づき、産業の活性化、農業の振興及び観光まちづくりの推進を図っている。</li> </ul>
	<p>主な実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小川町一丁目土地区画整理事業の実施</li> <li>都市計画道路 3・4・10 号線及び 3・4・21 号線整備事業の実施</li> <li>コミュニティバス、コミュニティタクシー運行</li> <li>指定管理者制度導入による自転車駐車場の有料化</li> <li>小平グリーンロード活性化事業の実施</li> </ul>						
健全で、進化する まちを築いていく	計画事業数 29   実施事業数 27   実施率 93%			<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サービスの向上をめざした広域連携の推進</li> <li>誰でも利用しやすいホームページの充実</li> <li>自主財源の確保による健全な財政運営の推進</li> <li>ICTの活用による市民サービスの向上</li> <li>公共施設マネジメントの推進</li> </ul>	<p>トピックス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国分寺市との広域連携が進展した。</li> <li>健全な行財政運営を実現するため、自主財源確保の取組等、成果があった。</li> <li>「公共施設マネジメント基本方針」を策定し、人口減少などの時代の転換等を踏まえた大きな方向性を示した。</li> </ul>	<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サービスの向上をめざした広域連携の推進</li> <li>誰でも利用しやすいホームページの充実</li> <li>財政の見える化及び健全化の推進</li> <li>効率的で質の高い市民サービスの実現</li> <li>公共施設マネジメントの推進</li> </ul>	<p>トピックス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多摩北部都市広域行政圏協議会や近隣自治体との連携を推進し、広域的な課題や市域を超えた行政課題へ対応を図っていく。</li> <li>スマートフォン版のホームページ、メールマガジン、音声広報等様々な媒体で市政情報の提供を行う。</li> <li>公共施設マネジメント推進計画に基づき、個別施設の更新等に向けた対応を図っていく。</li> </ul>
	<p>主な実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治基本条例施行</li> <li>市制施行 50 周年</li> <li>行政評価の実施</li> <li>歳出削減の実施</li> <li>行財政再構築プランの策定、実施</li> </ul>						

#### 4 人口推移と市民意識

第三次長期総合計画基本構想の前期基本計画において、目標（平成27（2015））年度における市の人口指標を190,564人としており、実績は190,005人でほぼ一致しています。

14歳以下及び15歳から64歳の人口割合は指標より下回り、65歳以上の人口割合は指標より上回っています。

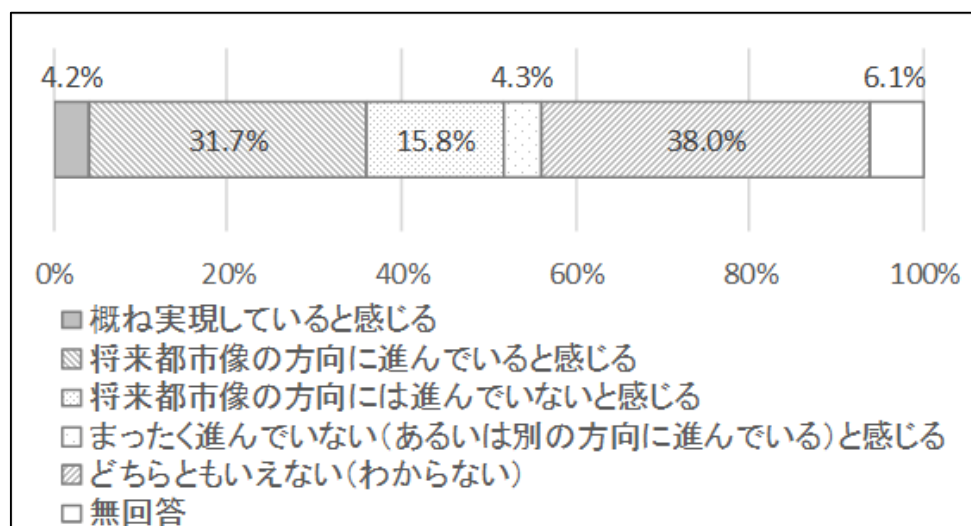
図表 2-1 小平市の人口の推移



(国勢調査)

小平市第三次長期総合計画基本構想に掲げる将来都市像（「躍動をかたちに 進化するまちこいだいら」）の実現度に対する回答者の認識としては、「概ね実現していると感じる」と「将来都市像の方向に進んでいると感じる」が合わせて35.9%で一定の割合を占めています。

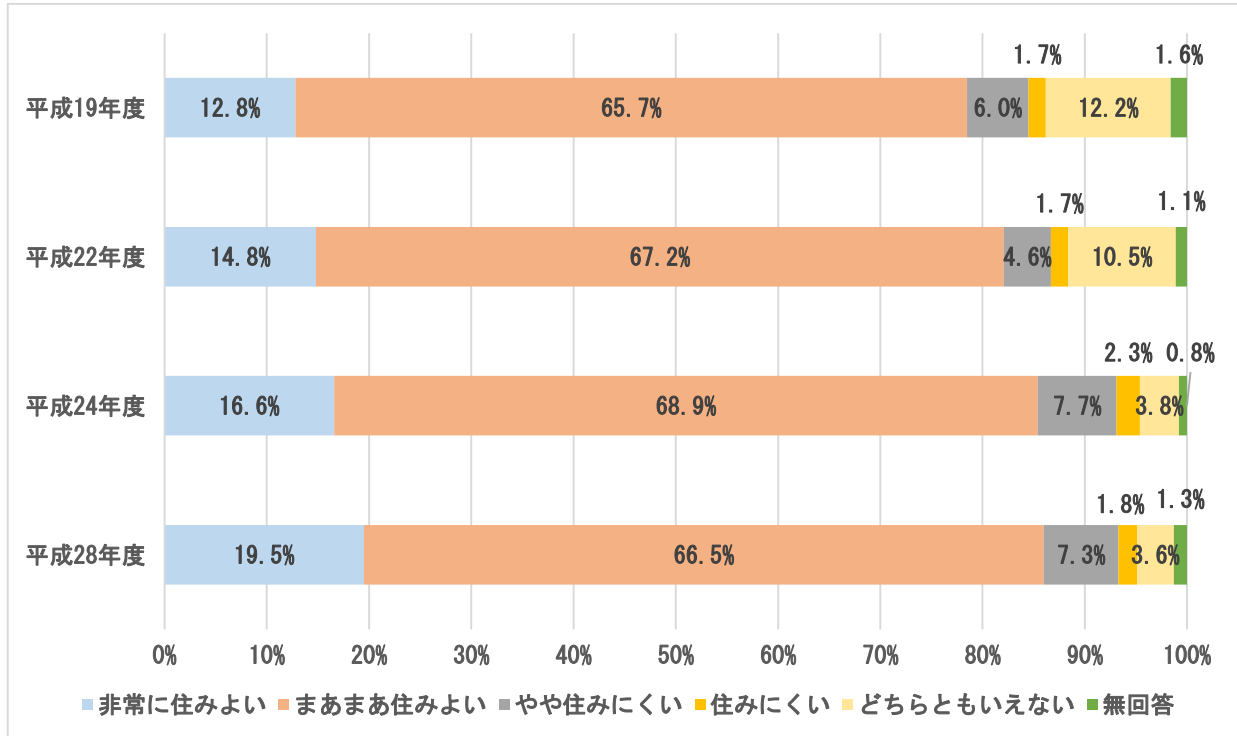
図表 2-2 小平市第三次長期総合計画基本構想の将来都市像実現度



(小平市長期総合計画策定のための市民アンケート調査報告書（平成31年3月）)

小平市の住み良さについて「非常に住みよい」という回答は調査ごとに増加しています。

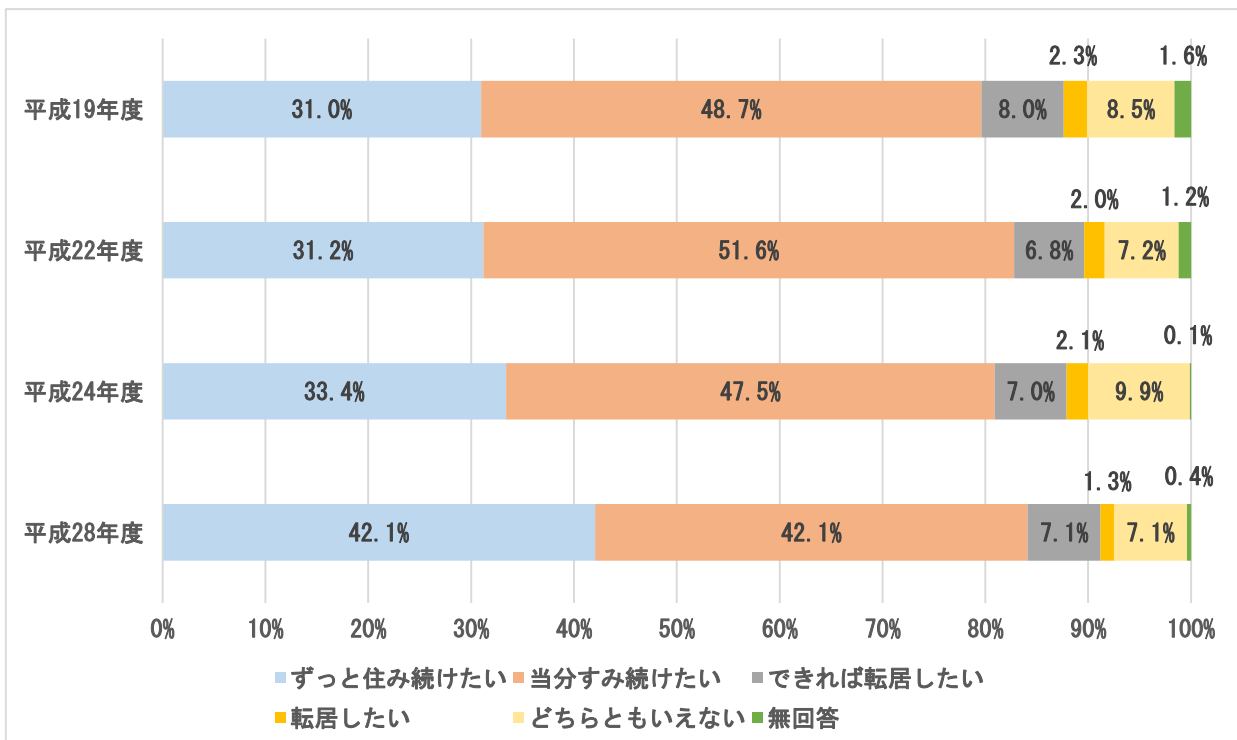
図表 2-3 小平市の住み良さに関する意識



(小平市政に関する世論調査)

小平市への定住意向について「ずっと住み続けたい」という回答は調査ごとに増加しています。(※ただし、選択肢の文言を「永住したい」から「ずっと住み続けたい」に変更したため、単純な比較は出来ない。)

図表 2-4 小平市への定住意向



(小平市政に関する世論調査)